

阿蘇神社・楼門をイメージした『観光ポスト』を設置

神社前の中央駐車場に、(株)まちづくり阿蘇一の宮が一の宮郵便局の協力で「観光ポスト」を設置し、その記念式典が6月2日行われました。このポストは、通常の郵便利用のほか、隣接の一の宮町インフォメーションセンターのもてなしで観光客が旅の思い出をハガキに綴り投函できるようになっています。(株)まちづくり阿蘇一の宮の長尾代表は「日本一のポストにしようと、神社の楼門を見立てた囲いを考えました」と、屋根の銅板の輝きと、詩画家大野勝彦さんの温かみある詩絵の飾りで、水基通りの風情によくあったポストに仕上がりました。最初の投函は、宮地小学校と宮地保育園児たちが行い、友人や家族に宛てたハガキを送りました。



▲ 式典には大野勝彦さんも参加し除幕に協力されました

父の日に牛乳をプレゼント



牛乳の消費拡大を願った「父の日に乳(ちち)を贈ろう!」という全国キャンペーンの一環として、大阿蘇酪農業協同組合女性部(富安恵子部長ほか22人)の3人が、6月11日、阿蘇市役所、産山村役場および阿蘇地域振興局を訪れました。

市役所では、父親を代表して佐藤市長に牛乳をプレゼント。早速、牛乳を飲み干した市長は「甘くてまろやかで非常に飲みやすい」と阿蘇の牛乳を絶賛。部員の方たちも「牛乳は手軽にカルシウムをとれる飲み物。たくさん飲んでもらいたい」と牛乳の良さを語っていました。

中学生が新聞づくりで市長を取材

阿蘇北中学校の3年生4人が、選択授業の一環で「阿蘇北ニュース」製作に取り組み、市の有名人コーナーに阿蘇市長を企画。6月1日、市長室を訪れました。4人は緊張した様子で入室しましたが「体育祭の時見た同じ笑顔で市長に迎えられる緊張がとけました」と、早速、写真撮影や質問を開始。Q.市長の仕事は大変ですか?なぜ、市長になろうと思われましたか?元気の源は何ですか?私たちも市長になれるのでしょうか?などたくさん質問し、市長の言葉をしっかり書きとめました。「聞いて驚いたこと、知らなかったこともあった。記事にして皆に伝えるのが楽しみ」と笑顔の4人でした。



熊本県社会功労者表彰(民生委員・児童委員)

民生事業の振興を図るため、民生委員・児童委員に永年在職し、職務遂行に当たり熱心であった委員に表彰状が授与されました。受賞おめでとうございます。

在職15年以上表彰

小代 勝久(一の宮地区) 鳴川 輝敏(阿蘇地区・元委員)

在職9年以上表彰

佐藤 ウタ子(一の宮地区) 中園 民男(一の宮地区) 岩下 紀幸(一の宮地区) 國武 香(阿蘇地区) 鶴林 道也(阿蘇地区) 亀井 カヨ子(阿蘇地区) 下村 謙一(阿蘇地区・元委員) 藤川 美智子(阿蘇地区・元委員) 井芹 昭次(阿蘇地区・元委員) 故 坂梨 智信(阿蘇地区・元委員)